



授業実践

共に生きる～ Todos Somos Amigos 知って広げて行動する～

学校所在府県：滋賀県

指導時数：12 時間

学 校 名：甲賀市立信楽小学校

対象学年：小学6年生

名 前：永井 しのぶ

対象人数：65人

実践教科：総合的な学習の時間

1. 教師海外研修を通して感じたこと

あまりにも濃く、充実した12日間だった。

その中で、まず、たくさんのブラジルの“顔”を見ることができた。全く違う地域を数カ所訪問できたことで、そのそれぞれの違いを感じ、改めてブラジルの大きさを実感した。ブラジルの中の違いだけでなく、日本との違い、また、違うけれどもつながっている部分があること等も感じることができた。

また、人との出会いから学ぶべきことも多かった。ブラジル人の中でも、サンパウロに代表される分散型日系社会やトメアスの連携型日系社会等で、様々な日系人の方に出会い、交流を通して、いろいろな考え方、見方を知り、熱い思いを感じ、それぞれの方の生き方に感動した。

さらに、やはり、教育の大切さを感じた。特別支援教育の面でも、帰国した児童のケアの面でも、ブラジルの教育が進んでいることが嬉しかった。ただ、子どもたちが抱えている様々な問題やわたしたち教師が大事にしなければならないことは、ブラジルでも日本でも共通していて、考えさせられる部分もたくさんあった。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

滋賀県にはブラジルの方がたくさん住んでいる。前任校では、アイデンティティーやダブルリミテッドの問題を抱えながら、日本の児童に受け入れられず、毎日泣いたり怒ったりしている外国籍の子たちや、彼らのルーツもよく知らないまま、“違い”を排除してしまう日本の子たちをずっと見てきた。お互いに相手のこと、そして自分のことを、そのまま受け入れることができないだろうか悩んだ日々だった。そして現任校で、外国にルーツを持つ児童がいない今、近い将来ブラジル人を始めとした外国人に出会うであろう、真っ白なままのこの子たちだからこそ、伝えるべきことがあるはずだと感じている。

そこで、まず“違い”の豊かさを伝えたいと考えた。子どもたちがプラスの気持ちで出会い、興味関心を高められるように、様々な角度からブラジルを紹介し、「ブラジルっておもしろい。」「もっと世界のことが知りたい。」と思ってもらえるようにしたい。自分の当たり前が、他の人の、あるいは世界の当たり前ではないことに気づき、心の世界を広げてほしい。

また、滋賀県にたくさん在住するブラジル人と自分とのかかわりに気づけるような“日本とのつながり”について学ばせたい。日本にいる日系ブラジル人の理解という観点からだけでなく、ブラジルの日系社会を築き上げてきた方々の努力や日本への思いについても取り上げたい。

そして、ブラジルで活躍している日本人（日系社会青年ボランティアなど）を紹介しながら、国際協力について触れ、最後には、自分や自分たちにできることをしっかりと考えさせていきたい。同じ時代に共に生きる者として、お互いを知り理解すること、それを自分の中でも周りの人にも広げていくこと、そして自分にできることを行動に移していくことを大切にしていってほしいと考えている。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1・2時限目 ブラジルの Amigos に 思いを届けよう(事前) *ブラジルに興味を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図を見て“違い”のおもしろさに気づく。 ● グループで「ブラジルと言えば？」を考え、発表し合い、ブラジルに対する興味を広げる。 ● 言葉が違う友だちに通じる手段は何かを考える。 ● 絵で“〇〇している自分が好き”を表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルで使用されている世界地図 ● Google Earth
3時限目 ブラジルを知ろうⅠ ～フォトランゲージ編～ *ブラジルの様々な顔を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 越智学園での、自分たちの絵の紹介とブラジル人の児童の様子を知り、身近に感じる。 ● 写真を見て、「これは何?どこ?何に使う?」のクイズをし、“当たり前”の違いに気づく。 ● 写真を見て、「これは日本?ブラジル?」のクイズをし、日本とのつながりに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルでの学校訪問時の動画 ● 写真(パワーポイント)
4時限目 ブラジルを知ろうⅡ ～モノランゲージ編～ *ブラジルの様々な顔を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルボックスとブラジルで見つけたモノを見て、「これは何か?何でできているか?どんな風に使うのか?」をグループで考え発表する中で、ブラジル独自の文化を知ったり、移民国家ブラジルの懐の深さに気づいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルボックス ● ブラジルで見つけたモノ
5時限目 ブラジルと日本の つながりを知ろうⅠ ～移民・サンパウロ編～ *移民の歴史とサンパウロの日系社会について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ブラジル移民の今昔」のクイズをし、移民について知る。 ● カルタやビデオで、理解を深める。 ● 世界最大の日系社会がブラジルにあることを知り、前時の写真やモノの意味をふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移民クイズ ● 移民カルタ ● 移民100周年ビデオ
6時限目 ブラジルと日本の つながりを知ろうⅡ ～移民・トメアス編～ *トメアスの日系社会と人々の生き方を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオを見て、アマソンの危機が日本とつながっていることを知る。 ● 3つの写真やモノのつながりを考え、日系人が進めているアグロフォレストリーの取り組みを知る。 ● トメアスの移民の歴史やジャポネスガランチードという言葉を知り、日系人の生き方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● TVビデオ ● JICAビデオ ● 写真 ● モノ ● ブラジルで出会った方の動画
7・8・9時限目 ブラジルと日本の つながりを知ろうⅢ ～日本に住む日系人編～ *日本に住む日系人の現状を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本や滋賀県に住む外国人の現状を知る。 ● グループで「多言語問診票」を記入する中で、考えたこと、感じたことを発表し合う。 ● グループで「お知らせ」を言葉がわからない外国人の友だちに伝える方法を考え、発表し合う。 ● 体験者の話を聞き、相手を理解し、伝えようとする気持ちが大事であることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本に住む外国人に関するデータ(パワーポイント) ● 道徳ジャーナル記事 ● ワークプリント「多言語問診票」「大縄大会のお知らせ」
10時限目 ブラジルと日本の つながりを知ろうⅣ ～ブラジルで活躍する日本人編～ *国際協力について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオを見て、ブラジルで活躍する人々について知る。 ● 国際協力師の言葉や本などから、国際協力とは何かを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルで出会った方の動画 ● 本「日本の国際協力がわかる事典」「カナリアものがたり」
11・12時限目 自分・自分たちに できることを考えよう *学んだことをまとめ、できることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ● 今までの学習で学んだことをふり返る。 ● 今、世界で起こっている問題を出し合う。 ● 自分・自分たちにできることを考える。 ● 自分たちで考えたアクションを、今すぐできること、効果がありそうなことなど、基準をはっきりさせながらダイヤモンドランキングして、発表し合う。 ● 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 振り返りワークシート ● 自分・自分たちにできることダイヤモンドランキング

3. 授業の詳細

1・2時限目：ブラジルのAmigosに思いを届けよう(事前)

ねらい…ブラジルに興味を持つ。

◆内容◆

- ① ブラジルで使用されている世界地図…“違い”のおもしろさに気づく。
- ② ワークショップ「ブラジルと言えば？」…ブラジルのイメージを共有し、ブラジルへの興味を広げる。
- ③ 思いを伝えるには…言葉がわからない友だちに思いを伝える方法を考える。
- ④ 「〇〇している自分が好き」…ブラジルの友だちに思いを伝える絵を描く。



世界地図

児童の感想

- ▶ ブラジルから見たら、日本は東の端っこでびっくりしました。違う見方の地図を見て、おもしろいと思いました。「違う」っていいなと思いました。
- ▶ みんな、ブラジルのイメージをいろいろ持っていてすごいと思いました。ブラジルについてもっと知りたくなりました。
- ▶ 自分の絵が、ブラジルの人に見てもらえるのがワクワクしました。どう描けばブラジルの人にわかるか考えて描きました。反応が知りたいです。

◆所感◆ 予想していた以上に、子どもたちがブラジルに対するイメージをたくさん出すことができ、嬉しい驚きだった。また、指導者が実際にブラジルに行き、児童の絵をブラジルの子どもたちに見せることを伝えたことで、意識の上で距離も縮まり、興味関心も高まって、次時へつながるスタートだったと思う。

3時限目：ブラジルを知ろうⅠ ～フォトランゲージ編～

ねらい…写真を通して、ブラジルの様々な顔を知ると共に、日本とのつながりに気づく。

◆内容◆

- ① 訪伯動画…自分たちの絵の紹介の様子を見て、身近に感じる。
- ② クイズ「これは何？どこ？何に使う？」…ブラジルの写真を見て、“当たり前”の違いに気づく。
- ③ クイズ「これは日本？ブラジル？」…写真を見て、日本とのつながりに気づく。[資料1](#)

児童の感想

- ▶ 日本と違うもの、意外なことがいっぱいあっておもしろかったです。日本との違いを知るのが楽しかったです。日本とくらべながら考えることができました。
- ▶ ブラジルに日本の文化が入り込んでいてびっくりしました。ブラジルと日本は思った以上につながっていて嬉しかったです。
- ▶ 知らないことを知ることができて嬉しかったです。ブラジルにあるものをもっと見たいです。

◆所感◆ 身近なもので日本と違うものを中心に取り上げることで、新しいことを知る楽しさを感じ、自分たちの当たり前が世界の当たり前ではないことにも気づいてくれたように思う。また、ブラジルの中に日本の文化が、日本の中にブラジルの文化がたくさん見られることから、ブラジルと日本のつながりを自然に感じることができた。見せたい写真はたくさんあるが、ねらいに合わせて厳選していく必要がある。

4時限目：ブラジルを知ろうⅡ ～モノランゲージ編～

ねらい…モノを通して、ブラジル独自の文化を知ると共に、移民国家ブラジルの懐の深さに気づく。

◆内容◆

- ① ワークショップ「ブラジルボックス」…ブラジルのモノを見て「これは何か？何でできているか？どんな風に使うのか？」を考える中で、独自の文化を知り、移民国家ブラジルの懐の深さに気づく。

児童の感想

- ▶ ブラジルのいろいろな物をさわって実感できました。ブラジルの文化がわかったし、初めて見る物ばかりで衝撃的でした。
- ▶ ブラジルの人は、自然と共に生きていますと感じました。
- ▶ ブラジルって広いなと思いました。すみからすみまでもっといろいろな物を見たいです。

◆所感◆ 実際にさわられるモノがあることで、子どもたちの興味はかなり高まった。インディオ・アフリカ・ヨーロッパ・日本などの様々な文化が入り込んでいることに気づいてほしいと願っていたが、こちらが考える以上のことを感じてくれる児童がいた。

5時限目：ブラジルと日本のつながりを知ろうⅠ ～移民・サンパウロ編～

ねらい…105年前からの移民の歴史とサンパウロの日系社会について知る。

◆内容◆

- ① クイズ「ブラジル移民の今昔」…移民について知る。
- ② 移民カルタ・移民100周年ビデオ…移民について理解を深める。

児童の感想

- ▶ 日本人が105年も前に、ブラジルに行っていたなんて知らなかったの、びっくりしました。ブラジルと日本の交流が105年も前からあってすごいと思いました。
- ▶ 移民のことがわかり、ブラジルと日本のつながりがわかりました。移民の理由や移民した後の生活・仕事などを知ることができてよかったです。
- ▶ ビデオでその頃のことをよくわかりました。それぞれの人にいろいろな事実があったことがわかったし、移民の人たちのたいへんさもわかりました。気持ちが伝わってきました。



移民カルタ

◆所感◆ ブラジルには世界最大の日系社会があり、その歴史が105年前にさかのぼることを知らない児童がほとんどだった。この授業を通して、前時のフォトランゲージやモノランゲージで知った日本とのつながりの理由がわかり、ますます興味を深められたようだった。

6時限目：ブラジルと日本のつながりを知ろうⅡ ～移民・トメアス編～

ねらい…トメアスの日系社会とアグロフォレストリー、厳しい中を生き抜いてきた人々の生き方を学ぶ。

◆内容◆

- ① アマゾンの危機（ビデオ）…アマゾンの危機が日本とつながっていることを知る。
- ② ワークショップ「つなげてみよう」…3つの写真やモノのつながりを考える。
- ③ JICAビデオ…日系人が進めているアグロフォレストリーの取り組みを知る。
- ④ メッセージ（動画）…ブラジルに住む日系人の方からのメッセージを聞き、トメアスの歴史やジャポネスガランチードという言葉を知り、生き方を学ぶ。

児童の感想

- ▶ ブラジルの自然について学びました。アマゾンが伐採されていて、アマゾンの危機が日本にもつながっていることがわかってびっくりしました。
- ▶ 一つ一つの写真にいろんな不思議があっておもしろかったです。
- ▶ アグロフォレストリーのことがわかりました。チョコレートにアグロフォレストリーの文字があって、とても興味をわきました。
- ▶ 日系人、日本人への信頼が大きくて、なんか嬉しかったです。

◆所感◆ 環境の面でもつながりがあること、日系人の方が厳しい中を生き抜いてきて、ブラジルの中に根ざして暮らしていること、日系人への信頼が厚いことなどを、子どもたちは新鮮に理解し、感動してくれた。この授業の後、アグロフォレストリーの中で出てきた、チョコレートやアサイーに興味を持ち、調べたり買ったりする児童がたくさんいたのも嬉しかった。

7・8・9時限目：ブラジルと日本のつながりを知ろうⅢ ～日本に住む日系人編～

ねらい…日本に住む日系人の現状を知る。

◆内容◆

- ① 日本に住む外国人…データをもとに、日本や滋賀県に住む外国人について知る。[資料2](#)
- ② ワークショップ「多言語問診票」…知らない文字に出会ったときの気持ちを考える。
- ③ ワークショップ「カルロスに伝えよう」…言葉がわからない友だちに伝える方法を考える。
- ④ 大事なことは…経験者の話から、相手を理解し、伝えようとする気持ちが大事であることに気づく。



ワークショップ
『カルロスに伝えよう』

児童の感想

- ▶ 滋賀県に外国人の人（特にブラジルの人）がたくさん住んでいるのがわかりました。
- ▶ もしこの学校に外国人の人が来て読めないお知らせをもらったらどうだろう、どうやったら伝わるだろうと頭を悩ませて、しっかり考えて書きました。わかるように書くのってすごく難しかったです。実際に書いてみて、すごく考えられました。カルロスに伝わるように、工夫して考えるのが楽しかったです。
- ▶ 言葉は通じなくても、伝えられることがわかりました。「伝えようとする気持ちは伝わる」という言葉が印象的でした。
- ▶ この学習をして、ポルトガル語を覚えようと思いました。

◆所感◆ 計画の段階では、2時間だと思っていた授業だったが、ワークショップでの子どもたちの様子から、さらに1時間を取ることにした。外国の言葉や文化・習慣での細かい学びももちろんあったが、相手を理解すること、伝えようとする気持ちが大切であることに気づき、様々なことを感じてくれた3時間だったように思う。

10 時限目：ブラジルと日本のつながりを知ろうⅣ ～ブラジルで活躍する日本人編～

ねらい…ブラジルで活躍する JICA 等の人々について知り、国際協力について考える。

- ◆内容◆ ① メッセージ（動画）…ブラジルで活躍する人々について知る。
- ② 国際協力とは…国際協力について考える。

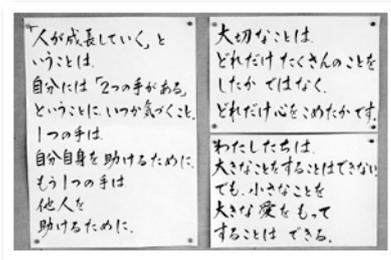
児童の感想

- ▶ ブラジルで国際協力をしている人の思いがわかりました。国際協力している人がみんな楽しそうなのが印象的でした。
- ▶ 私には国際協力の仕事は難しいけど、困っている人がいる、私たちにとって当たり前のことでもそうじゃない人もいる、ということを考えることならできると思いました。
- ▶ 「国際協力」という言葉を学んで、自分には何ができるか、考えることができました。自分にできることをやっとうと思いました。
- ▶ このときの授業が一番心に残りました。自分には何ができるか、考えることができました。この勉強をして国際協力について調べて、将来、国連や JICA に入りたいと強く思いました。

◆所感◆

指導者の予想以上に興味を示し、次時までにはしっかりと調べたり考えたりしてきた児童が多かった。実際に会った方々のメッセージ（動画）もよかったが、国際協力をしている先人の言葉も響いたように思う。

心に響いた先人の言葉▶



11・12 時限目：自分・自分たちができることを考えよう

ねらい…学んだことをまとめ、自分・自分たちができることを考える。

- ◆内容◆ ① ふり返ろう…今までの学習をふり返る。
- ② 今、世界では？…世界で起きている問題を出し合う。
- ③ ワークショップ「自分・自分たちができることダイヤモンドランキング」[資料3]
- ④ 学習の総まとめ

児童の感想

- ▶ まず相手を知ることが大切だということを知りました。この学習をして、私は、人の気持ちを考えられるようになりました。
- ▶ この授業で知ったこと、考えたことを、身近な人に伝えていきたいです。
- ▶ いつも、日本中心にものごとを考えていたけど、視野を広げ、世界を見ようと思いました。
- ▶ ブラジルのことをもっと知りたいし、他の国のことも調べてみたくなりました。
- ▶ ぼくたちでも、他国を支援できることがあったので、積極的に取り組みたいです。
- ▶ まだまだ国際協力について勉強したいです。私は小さいときから人の役に立つ仕事があったのですが、この学習をして、人の役に立つということは、一つではなくたくさんの方があることを知りました。もう一つ、「夢を持つこと」も教えてもらった気がします。

◆所感◆ たくさんの児童が、国際協力について考えたり調べたりしてきたことで、子どもたちから出たアクションを使ってダイヤモンドランキングをすることができた。机の上での学習に終わらず、行動に移してくれることを願うばかりである。

4. 成果

目を輝かせながら写真やモノを見ていた子どもたちに、もっとたくさんのブラジルを紹介したいと考え、「ブラジルの部屋」を作り、写真やモノを常時掲示させてもらった。子どもたちがブラジルを好きになり、授業以外でもブラジルに触れて、ブラジルの番組を見たり、ブラジル関連のものを探して買ったり、ブラジルのことを進んで調べたりする姿がたくさん見られるようになったことが、まず第一の成果である。

また、この学習は、「知る」「違いは豊かさ」をキーワードに進めてきたが、新しいことを知ることのおもしろさや大切さ、違いを受け入れる大切さ、さらには、自分の当たり前が当たり前ではない世界の広さを感じてもらえたと思う。そして、広く世界のことを考えることは、実は目の前にいる友だちのことを考えることにつながり、自分とは違う一人ひとりを理解しようとし、共に生きる者として共に考えていってほしいという願いも伝わったのではないと思う。

5. 課題

現地で様々な体験をさせていただき、たくさんの驚きがあり、発見があり、感動があった。その中から、何をねらってどう授業をどう組み立てていくかがなかなか整理できず、悩んだ。実際に体験したということが強みにもなるが、子どもたちの目線に立って伝えることを精選していかないと、逆にねらいがぼやけてしまう。体験（教材）を教えるのではなく、体験（教材）で教えるという意識をしっかりと持っている必要性を感じた。

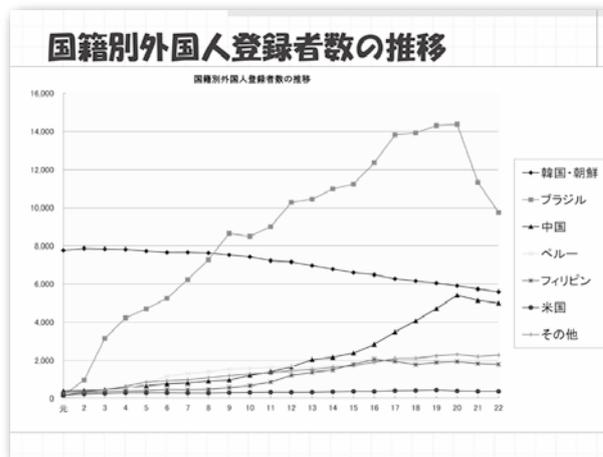
参考文献 『「国際協力」をやってみませんか?』 小学館
『日本の国際協力がわかる事典』 PHP 研究所
『カナリアものがたり』 JICA

参考ホームページ 滋賀県国際協会 <http://www.s-i-a.or.jp/>
アグロフォレストリー（フルッタフルッタ） <http://www.frutafruta.com/>

参考資料

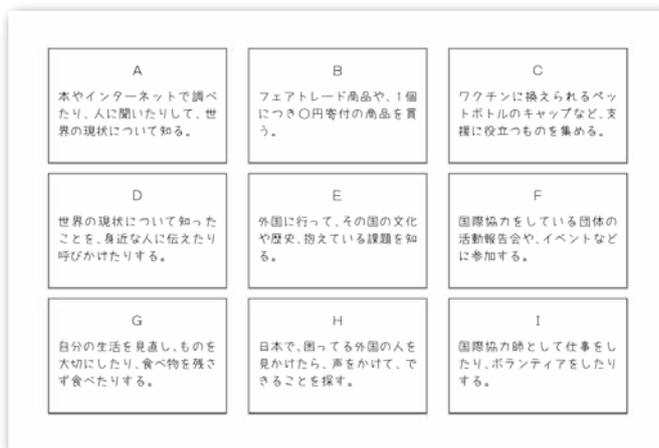
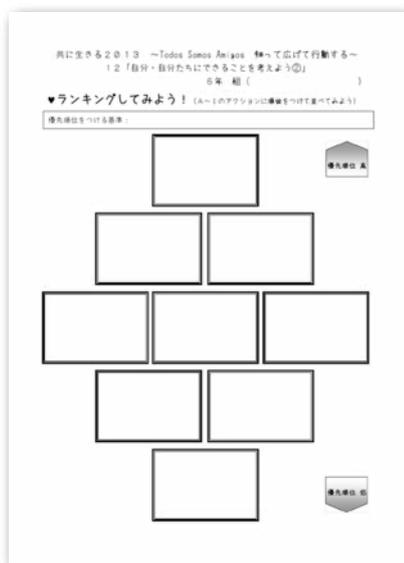


資料1 フォトランゲージ



資料2 外国人に関するデータ

資料3



自分・自分たちができること ダイヤモンドランキング